

第2期川北町版総合戦略の重要業績評価指標（KPI）検証シート

施策等	担当課	基準値	目標値	現況	理由等
I 充実した子育て環境をめざす ふるさと川北戦略					
合計特殊出生率		1.3	1.8	R3 1.746	令和元年は1.190、令和2年は1.653
施策I-① 結婚・妊娠・出産に対する支援					
乳幼児健診受診率	福祉課	H30 97～100%	R6 100%	R4 96～100%	継続して受診勧奨に努める
施策I-② 安心して子育てできる環境づくり					
子ども・子育て支援に関するアンケートにおける「満足」・「やや満足」の割合	住民課	R1 67.10%	R6 67.1%以上	R5 —	アンケートは令和6年度に実施予定。
保育所待機児童数	住民課	R1 0人	R6 0人	R5 0	待機児童が発生しないように努める。
施策I-③ 川北らしい特色のある教育の実践					
学力調査の実施	教育委員会	R1 1回/年	R6 1回/年	R4 1回/年	全ての小学校と中学校1・2年生で実施。
ICT教育の推進（GIGAスクール構想の実現）	教育委員会	R1 端末1台/6人	R6 端末1台/1人	R4 端末1台/1人	学習支援ソフトや学習アプリの積極的な活用促進
ICT支援員の配置	教育委員会	R1 0人	R6 1人	R4 1人	他にGIGAスクールサポーター1人配置
特色ある英語教育の実施（オンライン英会話及び英語4技能テスト）	教育委員会	R1 1回/年	R6 1回/年	R4 1回/年	各小学校5、6年、中学生全学年を対象として継続して実施。
施策I-④ 地域の力による子育ての充実					
子ども読書活動推進事業	教育委員会	R1 12回/年	R6 12回/年	R4 12回/年	乳幼児に対して「ブックスタート」事業を開催
町学校安全対策推進事業助成金	教育委員会	R1 300千円	R6 300千円	R4 300千円	見守り隊等への支援の継続
明日の子どもを育てる町民会議の充実（全体会参加人数）	教育委員会	R1 40人	R6 50人	R4 0人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体会を開いていない。
みんなの集い（年間活動発表）（参加者数）	教育委員会	R1 200人	R6 250人	R4 60人	町民サミット「川北町で目指せ！！日本一」の題目で開催し、世代を超えた意見交換を行った。
文化交流活動（スクールシアターなど）	教育委員会	R1 2回/年	R6 2回/年	R4 1回/年	昨年に引き続き人数制限をしたうえでスクールシアターを開催
教育講演会、子育て講演会（参加者数）	教育委員会	R1 280人	R6 300人	R4 166人	教育講演会 100人・子育て講演会 66人
地域人材の活用（総合的な学習の時間、道徳、各教科）	教育委員会	R1 通年	R6 通年	R4 通年	各学年、「まちの先生」との授業を1年を通して実施

第2期川北町版総合戦略の重要業績評価指標（KPI）検証シート

施策等	担当課	基準値	目標値	現況	理由等
II 多世代がずっと住み続けられるまちをめざす ふるさと川北戦略					
町内への転入者数	R1	128人	R6 180人以上	R4 137人	サンハイム三反田への入居停止が影響している。
町外への転出者数	R1	183人	R6 150人以下	R4 174人	町営住宅からの転出が多くみられた
施策II-① 地域のコミュニティ創出					
地区公民館活動費（生涯学習・健康・体力づくり等）	教育委員会	R1 490千円	R6 490千円	R4 131千円	自治公民館長会時に助成金の周知を行った。
地域コミュニティ活動の支援	総務課	R1 43,000千円	R6 同程度	R4 41,800千円	R1は予算額、R4は決算額。
施策II-② 住環境の向上					
新築住宅取得奨励金件数	土木課	R1 累計37件	R6 累計130件	R4 累計131件	各地区での宅地開発等により、町外からの転入による申請件数が年々増加している。
空き家バンク登録件数	土木課	R1 累計0件	R6 累計2件	R4 累計0件	所有者に対して周知を図り、問合せはあるが登録には至っていない。（問合せ2件）令和5年度より空き家バンク奨励金制度を新たに設けた。
既存建築物耐震改修工事補助金申請件数	土木課	R1 累計2件	R6 累計12件	R4 累計2件	町HP、広報、耐震相談会などで周知をし、問合せはあるが申請には至っていない。（問合せ1件）
既存建築物耐震診断補助金申請件数	土木課	R1 累計0件	R6 累計10件	R4 累計0件	町HP、広報、耐震相談会などで周知をし、問合せはあるが申請には至っていない。（問合せ1件）
住宅リフォーム助成事業補助金申請件数	土木課	R1 累計183件	R6 累計280件	R4 累計281件	外壁や水回りの申請割合が高く、今後も続く見通しである。
施策II-③ 町内外における活発な交流の促進					
国際交流員の交流活動（語学講座など）	教育委員会	R1 通年	R6 通年	R4 2講座	日本在住カナダ人による語学講座を実施。
中学生国際交流の翼（派遣）事業の実施	教育委員会	R1 -	R6 延べ20人以上	R4 2回/年	後期にオンライン交流を実施。本年は11名の中学生がニュージーランドを訪問した。
施策II-④ 生涯学習の推進					
教養講座開催講座数	教育委員会	R1 16講座	R6 16講座	R4 13講座	前期は9講座。後期は4講座を開催。
文化活動の推進（文化協会加盟団体）	教育委員会	R1 20団体	R6 20団体	R4 20団体	若い世代への裾野を広げ新規開拓に繋げる。また、文化祭等の行事を通じて文化活動の推進に努める。
樺光学級参加人数（累計）	教育委員会	R1 470人	R6 500人	R4 236人	年間8回計画のうち7回開催した
施策II-⑤ 生涯スポーツの推進					
ジュニアスポーツ活動の支援（クラブ数）	教育委員会	R1 13団体	R6 14団体	R4 13団体	活動支援に努め、子ども達の選択肢が広がるようクラブ数の増に努める。
町民スポーツイベントの開催	教育委員会	R1 3回/年	R6 4回/年	R4 0回/年	新型コロナウイルスの影響により、卓球大会、綱引選手権大会、社会体育大会が中止。
スポーツ推進委員のスキルアップ（研修会回数）	教育委員会	R1 4回/年	R6 4回/年	R4 4回/年	全国、北陸地区、石川県、加南地区各研修会に参加（北陸地区兼石川県研修会は動画配信）
町民健康スポーツテスト	教育委員会	R1 2回/年	R6 2回/年	R4 0回/年	新型コロナウイルスの影響により、老人クラブ連合会対象の体力測定が中止。
スポーツ活動支援（町体育協会加盟団体）	教育委員会	R1 17団体	R6 18団体	R4 17団体	活動支援に努め、スポーツの裾野が広がるようクラブ数の増に努める。

第2期川北町版総合戦略の重要業績評価指標（KPI）検証シート

施策等	担当課	基準値	目標値	現況	理由等
Ⅲ 地域で働きやすい産業と雇用環境を生み出す ふるさと川北戦略					
利用権設定率		R1 59.5%	R6 61.0%	R5 71.1%	農地中間管理機構の活用により、増加した。
製造品出荷額（工業統計）		H29 約380億円	R6 約400億円以上	R元 417億円	従業員が4人以上の事業所の合計額
施策Ⅲ－① 町の特性を活かした農業の振興					
水田農業構造改革助成金対象（面積比率）	産業経済課	R1 75.6%	R6 80%	R4 87.4%	関係機関と協力し、作付け面積の維持に努める。
環境保全型農業直接支払交付金対象面積	産業経済課	R1 5,469 a	R6 6,000 a	R5 6,775 a	補助対象農家2件の内、法人が農地面積を拡大しているため。
認定農業者や集落営農の組織化	産業経済課	R1 59件	R6 55件	R5 53件	国の補助制度を活用しながら、認定農業者数の維持、組織化の推進に努める。
施策Ⅲ－② 中小企業の競争力向上					
中小企業設備投資促進補助金対象企業数	産業経済課	R1 1件	R6 2件	R4 2件	継続的に利用している。（R5.3件）
新規事業開拓・起業の支援（創業支援）件数	産業経済課	R1 累計6社	R6 累計8社	R4 累計14件	個人事業者の相談が増えている。
施策Ⅲ－③ 川北ブランドの魅力向上と発信					
販路開拓支援事業対象件数	産業経済課	R1 2件	R6 3件	R4 0件	1件予定していたが国の補助制度を活用したため。
産直物産館入込客数	産業経済課	R1 12,861人	R6 13,000人	R4 8,135人	冬場の新型コロナの影響で客足が減少した。（R3.8,588人）

第2期川北町版総合戦略の重要業績評価指標（KPI）検証シート

施策等		担当課	基準値	目標値	現況	理由等	
IV 安全・安心な暮らしを続けられる環境をつくる ふるさと川北戦略							
	町民の平均寿命		H27 男性：81.2歳 女性：87.6歳	R6	現況より延伸	R2 男性：82.2歳 女性：88.1歳	厚労省「令和2年市区町村別生命表」より
施策IV-① 安全・安心なまちづくり							
	町内交通事故発生件数（人身事故）	総務課	R1 9件	R6	10件以下	R4 12件	町交通安全協会や街頭交通推進隊が中心となり、今後も事故防止に努め、交通事故発生件数のさらなる減少を目指す。
	防災士の育成	総務課	R1 55名	R6	100名以上	R4 109人	町防災士会が設立され、防災士の数は順調に増えている。
施策IV-② 健康寿命延伸の取組							
	がん検診受診率	福祉課	H30 大腸がん（31.8） 胃がん（22.5） 子宮がん（53.8） 乳がん（50.2） 肺がん（26.0） 前立腺がん（29.2）	R6	維持又は向上	R4 大腸がん（26.4） 胃がん（22.6） 子宮がん（48.2） 乳がん（43.8） 肺がん（21.4） 前立腺がん（14.7）	感染防止対策をとりながら、予約制にて健診を実施。予約制には慣れてきたようにも感じられるが、コロナ感染症の前と比較しても、受診率は伸び悩んでいる状況が続いている。がん検診についての理解の促進や受診しやすい体制、受診勧奨を行い、受診向上に努める。
	がん検診精密検査受診率	福祉課	H29 大腸がん（66.7） 胃がん（91.7） 子宮がん（77.3） 乳がん（73.3） 肺がん（80.0）	R6	すべてのがんにおいて80%以上	R3 大腸がん（66.7） 胃がん（83.3） 子宮がん（77.8） 乳がん（93.3） 肺がん（87.5）	大腸がん検診・子宮がん以外の健診については、目標値の80%に到達できた。（項目によって、精密検査対象者が10人から20人と少ないため受診率では大きな変動がある。）がんの早期発見・早期治療のためにも、目標達成できるように、訪問による受診勧奨や再勧奨を行うとともに、リーフレットなどを活用し、がん精密検査の必要性についての理解・周知、がん検診受診体制も含めて受診率向上に努める。
	予防接種率（高齢者の肺炎球菌・インフルエンザ）	福祉課	H30 52～80%	R6	90%以上	R4 肺炎 20.6% インフル 75.3%	高齢者肺炎球菌の予防接種率は20.6%であった。対象者は65～100歳以上の5歳きざみの年齢の方であり、H26～30年度で対象は1巡し、R1年度から2巡目に入っている。過去の県内接種率は30～60%台であり、目標値の『90%以上』という設定が高かったと思われる。また、定期接種対象年齢外の人の予防接種にも助成制度を設けており、今後も接種しやすい環境を整えて接種率向上に努めていく。高齢者インフルエンザの予防接種は、目標値に達していないが、県内でも高い接種率である。接種費用の自己負担も無料としており、今後も継続して接種しやすい環境を整えていく。
施策IV-③ 高齢者・生涯福祉サービスの充実							
	自主的活動グループ数	福祉課	R1 9グループ	R6	現況より増加	R4 9グループ	新型コロナウイルスが5類になり、以前のように継続して活動をしている。
施策IV-④ 環境にやさしいインフラ整備							
	年間1人当たりの家庭系収集可燃ごみの量	住民課	H30 143kg	R6	143kg以下	R4 146kg	新型コロナウイルス感染症の影響によりごみの量は増加傾向であったが、R3から影響が落ち着いてきたためか減少に転じている。今後も目標値達成に向け、ごみの分別、減量化、適正処理に町民とともに取組を進めたい。
	住宅用定置型リチウムイオン蓄電池設置補助事業利用件数	土木課	R1 累計0件	R6	累計20件	R4 累計17件	災害に対する意識の高まりと電気代高騰への対応が見られる。
施策IV-⑤ 公共インフラの長寿命化							
	下水道 加入件数	産業経済課	R1 1,835件	R6	1,850件	R5 1,888件	サンハイム三反田取り壊しによる住宅件数の減